



札幌市立月寒東小学校学校便り 臨時号

令和7年(2025年) 10月 1日

<https://www.tsukisamuhigashi-e.sapporo-c.ed.jp>

EMAIL: tsukisamuhigashi-e@sapporo-c.ed.jp

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年4月17日に全国の6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。本調査により測定できるのは、子どもたちの学力の一部ではありますが、今回の結果を踏まえて明らかになった本校の子どもたちの学力や学習状況、そして改善の方向を保護者の皆様にお知らせいたします。

◆全国学力・学習状況調査の内容

(1) 教科に対する調査(実施教科:国語・算数・理科)

◇「知識・技能等」と「活用する力等」を一体的に問う問題

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査



【国語】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

『知識及び技能』

- ◆「言語の特徴や使い方に関する事項」
 - ・全国平均をやや下回っている。
- ◆「情報の扱い方に関する事項」
 - ・全国平均を下回っている。
- ◆「我が国の言語文化に関する事項」
 - ・全国平均を下回っている。

『思考力、判断力、表現力等』

- ◆「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。
- ◆「書くこと」の平均正答率
 - ・全国平均をやや下回っている。
- ◆「読むこと」の平均正答率
 - ・全国平均をやや下回っている。

『その他(領域を問わず)』

- ・選択式、記述式ともに全国平均をやや下回っている。

今回の調査における成果と課題

○話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

△目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討すること。

△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

△記述式問題の正答率が低く、無解答率が高い。

改善の方向

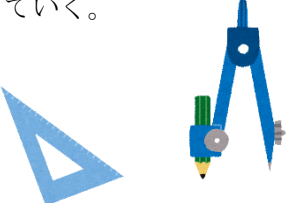
■説明文の文章の構成や意図を理解し、それをもとに互いの考え等を伝え合う学習活動の充実。

■国語に限らず、日常の書く活動において、学習した漢字はできる限り使用する場を多く設定していく。

■あきらめずに解答する力を身に付けさせるため、日常的に粘り強く学習に取り組み、成果が実感できる授業を継続していく。



【算数】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要	今回の調査における成果と課題	改善の方向
◆「数と計算」 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。 ◆「図形」 ・全国平均をやや上回っている。 ◆「測定」 ・全国平均をやや下回っている。 ◆「変化と関係」 ・全国平均をやや上回っている。 ◆「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。 『その他（領域を問わず）』 ・選択式問題が全国平均を上回っている。	○棒グラフから、項目間の関係を読み取ること。 ○台形の意味や性質について理解している。 ○簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶこと。 △目的に応じて適切なグラフを選択し、その理由を言葉や数を用いること。 △共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いること。 △記述式問題の正答率が低く、無解答率が高い。	■どの領域においても、視覚的に児童の助けとなる具体物やＩＣＴ教材を積極的に活用することで、児童の理解を深める。 ■あきらめずに解答する力を身に付けさせるため、日常的に粘り強く学習に取り組み、成果が実感できる授業を継続していく。 

【理科】本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要	今回の調査における成果と課題	改善の方向
◆「エネルギー」 ・全国平均をやや下回っている。 ◆「粒子」 ・全国平均をやや下回っている。 ◆「生命」 ・全国平均をやや下回っている。 ◆「地球」 ・全国平均を下回っている。 『その他（領域を問わず）』 ・記述式問題が全国平均を下回っている。 	○乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関すること。 △結果を基に結論を導いた理由を表現すること。 △身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物を選択すること。 △種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。 △選択式、記述式ともに無解答率が高い。後半の問題の無回答率も高い。	■丁寧な観察や実験を行うことで、確実な知識の定着を図る。それを基に思考力を高めていく学習を展開する。 ■選択式であっても後半の問題になるにつれ無回答率が高くなっていくため、最後まで粘り強く取り組むよう、日常的に声掛けを続けていく。 

児童質問紙（～学習・生活の様子～）

令和7年度の調査では、71項目にわたって生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問紙調査も実施されました。ここでは、全国平均と比較して特徴的だと思われる項目を中心にお知らせします。本校の子どもの現状として捉え、学校と家庭が一体となって子どもたちにとって望ましい環境づくりを行うなど、工夫して取り組んで参りたいと思います。

本校の調査結果の概要

全国平均と比較して 肯定的な回答の多いもの

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 将来の夢や目標をもっていますか。
- 友達関係に満足していますか。
- 1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。
- あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。
- 読書は好きですか。
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思いますか。
- PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
- 国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか。

全国平均と比較して 肯定的な回答の少ないもの

- 自分にはよいところがあると思いますか。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 平日にどれくらいの時間、勉強しますか。
- 学校が休みの日にどれくらいの時間、勉強しますか。
- これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。
- 地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか。
- ICT機器を活用して友達と協力しながら学習を進めることができる。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えていますか。
- 小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか。
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

【質問紙の結果から】

「将来の夢や目標をもっている」児童が多い反面、「自分にはよいところがある」と答えた児童が少ない傾向があります。誰にでもよいところがあり、自分のよいところを自分で認めていくことで自己肯定感が高まる関わりを継続し、将来の夢や目標に希望をもって進んでいけるよう支援していきます。

「先生は良いところを認めてくれている」と思っている児童が多い一方で、「先生や学校にいる大人に相談できますか」が少ない傾向にあります。シャボテンログ等を活用しながら学校の先生に安心して相談できるような環境、雰囲気作りを目指していきます。

「友達関係に満足している」、「読書に関する質問」には肯定的な回答が多いです。友達関係の変化に気付くよう見守りを続けたり、読書への意欲が持続するよう声掛けをしたりしていきます。

「学習への意欲」が低い傾向があります。児童の「分からない」を減らすためにも、教材を工夫したり ICT 機器を活用した学習を組み込んだりしながら、実生活とつなげていくことで児童が楽しく学習できるよう工夫していきます。また、平日、休日ともに家庭での学習の時間が短い傾向があります。つきーカードで日々の学習を振り返りながら、家庭での学習習慣を身に付けられるように声掛けをお願いします。

「ICT 機器の活用」については、「自分で活用すること」は高く、「友達と協力」は低い傾向となりました。自分で使うことに関しては自信をもっていますが、それが友達との協働的な学習へとはつながっていないので、協働的な学習ができるアプリ等を使用するなど ICT 機器の活用方法を工夫していきます。